

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年 12 月
海老名市立上星小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

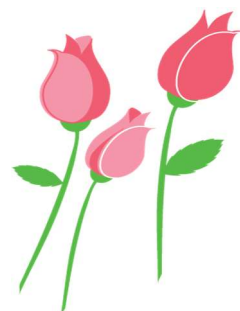
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができています。また、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することもできています。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができています。

◆課題のある点

- 話し言葉と書き言葉との違いを意識した使い方について課題が見られます。
- 主語と述語との関係の捉え方や、文の構造の理解について課題が見られます。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについて課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 本校の児童が得意としている資料収集・情報活用の力を活用し、主語と述語の関係や文の構造の理解について学習させていきます。また、学ぶ楽しさを実感させていくために、実際の使用場面を想定した課題に取り組みさせていきます。
- 読書教育（電子図書館含む）に力を入れていきます。豊かな文章や言葉に触れさせることで言語感覚を養っていくとともに、すばらしい本との出会いに向けた取り組みをしていきます。
- 想像力を養う手立てとして、物語文や詩の音読・朗読に親しませていきます。多様な表現にふれさせるとともに、友だちの発表・表現のよいところを相互に認め合えるようにしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができています。
- 除数が小数である場合の除法の計算ができています。
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察ができています。

◆課題のある点

- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことに課題が見られます。
- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題が見られます。
- 速さを求める際に複数の条件を統合したり、それを基に計算したりすることに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題場面を正確に捉えることができるよう、式や図だけではなく、具体物の操作を学習に取り入れていきます。
- タブレット端末を活用した計算に関する反復練習は継続するとともに、ペアやグループでの協働学習を通した説明活動に力を入れていきます。
- 継続的な指導や学年間の円滑な接続をめざし、学習してきたことを楽しみながら復習できるよう、指導計画を見直していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という設問に対して、38.8%の児童が「ほぼ毎日」、40.8%の児童が「週3回以上」と答えています。日常的にICT機器を活用した授業実践が展開できていると考えられます。
- 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という設問に対して、71.8%の児童が肯定的に回答しています。国語科等での発表に向けた学習の積み重ねが成果として表れていると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という設問に対する肯定回答の割合が低くなっています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「自分には、よいところがあると思いますか」という設問に対して「当てはまる」と答えた児童の割合が49.5%と高くなっています。児童の自尊感情を高めるために、学校・地域・家庭が連携している効果が出ているのだと考えられます。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問に対して、92.2%の児童が肯定的に回答しています。1年生から継続的に取り組んでいるキャリア教育の成果だと考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という設問に対する肯定回答の割合が低くなっています。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という設問に対する肯定回答の割合が低くなっています。

今後の具体的な取組について

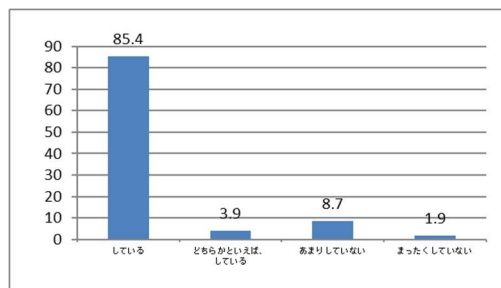
- 児童が規則正しい生活のよさに気付けるよう健康教育の指導計画を見直すとともに、家庭との連携を強化していきます。
- 本校のキャリア教育の成果として上がっている面を基盤に、児童自身の将来について具体的に想像できるよう、指導を改善していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 今後も、朝ごはんを大切にしましょう。

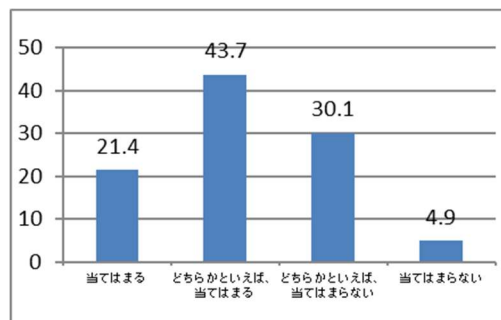
規則正しい生活にとって、朝ごはんはとても大切なものです。体内時計に関係し、早寝早起きにもつながります。子どもたちが元気に勉強や運動に取り組めるよう、今後も継続していただければと思います。



朝食を毎日食べていますか

2 家族で団らんやふれあう時間を取りましょう。

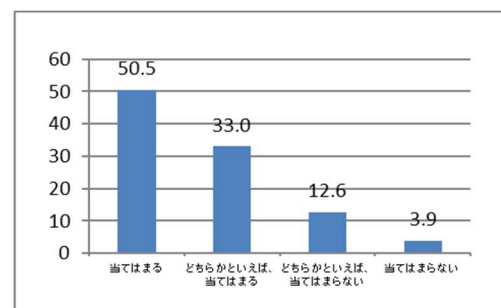
他者の考えや気持ちを知り、他者の意見について考えることは、自分の考えをよりよいものにするために大切なことです。食事やテレビを見ている時間など、何気ない時の会話が、自然と意見の交流になるのではないのでしょうか。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

3 さまざまな人との出会いを楽しみましょう。

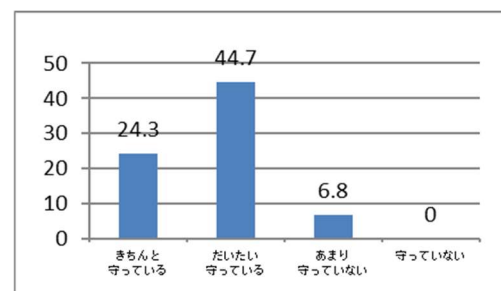
多様な価値観にふれることは人生を豊かにすると言われています。そのための第一歩として地域の方へのあいさつを大切にいただければと思います。



友達関係に満足していますか

4 ICT 機器使用の約束は、適宜見直しましょう。

急速な時代の変化は、私たちの生活をどんどん変えていきます。場面や状況の他、年齢に合わせた約束の見直しは、子どもたちの成長に有効に働くと思います。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

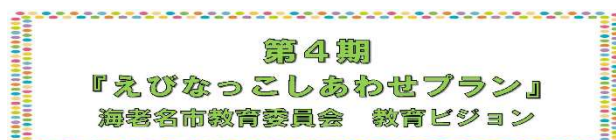
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
 海老名市教育委員会教育支援課 指導係
 電話 046-235-4919